学校番号	405

令和２年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂　生物基礎（　第一学習社　）						
副教材等	第一学習社　クリア生物基礎						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

観察や実験を通して、科学的な見方や考え方を養う。

２　学習の到達目標

生物の成り立ちやその仕組みを知ることにより、生命現象や環境についての理解を深め、科学的な自然観を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や体内･身近な現象と生物や生命現象の関係に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。生物の共通性と多様性や、生物の根本的な概念など科学的な見方や考え方を身につけている。	生物のつくりや生命現象の根本的な概念をもとに、生物現象が起こる過程を考察し、科学的根拠を示しながら筋道立てて表現できる。	生物や生命現象に関する実験や観察を行い、器具の基本操作を習得し、応用できる。観察･実験の結果を整理して記録し、その結果から考察することで生物現象を探求する技能を身につける。	生物や生命現象についての基本的構造や概念、原理を理解している。習得した知識をもって生物現象の関連性を体系的に理解できる。
評価方法	･定期テスト ･提出物	･定期テスト ･提出物	･定期テスト ･観察、実験のレポート ･提出物	･定期テスト ･提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴	●生物の多様性と共通性	○	○	○		a.生物の特徴を理解している。 b.エネルギーの概念を理解し、化学反応を使って表現できる。 c.顕微鏡を操作できる。 d.生物の共通性に着目して生命現象のしくみを理解している。	●提出物 ●授業態度 ●実験レポート ●定期考査
		●細胞とエネルギー	○	○		○		
	遺伝子とその働き	●遺伝子の本体の構造	○	○		○	a.遺伝現象に関心を持ち、DNAのはたらきを理解している。 b.DNAとRNAとタンパク質の関連性を理解している。 c.DNAの立体構造を理解している。 d.DNAから生体を構成するまでの流れを理解している。	●提出物 ●授業態度 ●実験レポート ●定期考査
		●遺伝情報の複製と分配	○	○	○	○		
		●遺伝情報とタンパク質の合成	○	○		○		
2学期	生物の体内環境の維持	●体液とその働き	○	○			a.体内環境に関心を持ち、生体を守るしくみを理解している。 b.体内環境を守るしくみを踏まえ、生体反応が起こる原因を説明できる。 c.日常生活での生体反応から自律神経の働きを客観的に感じることができる。 d.体内環境を維持するためのしくみに着目し、生命維持のしくみを理解する。	●提出物 ●授業態度 ●定期考査
		●体内環境の維持のしくみ	○	○		○		
		●生体防御	○	○	○	○		
3学期	生物の多様性と生態系	●植生と遷移	○	○			a.植物を中心とした生態系に関心を持ち、地球規模の生物の関係性に着目をしている。 b.生態系を理解することで、身近にある生態系の保全など人の立場について自分の考えを表現できる。 c.生態系と物質循環について理解し、観察の方法や過程、結果を整理できる。 d.生態系には植生が中心になっていて、そこからつながっている生物同士のつながり、人との関わりを理解している。	●提出物 ●授業態度 ●定期考査
		●バイオームとその分布	○	○		○		
		●生態系	○	○	○	○		
		●生態系のバランスと保全	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。